学校番号	３００１

令和５年度 農業科

教科	農業	科目	果樹	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「果樹」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

果樹の栽培管理の入門科目。2 コマ連続の授業の中で座学と実習を織り交ぜながら、果樹の分類や生理など学問的内容を学び、果樹園で栽培している 10 種以上の果樹の 1 年間の生育サイクルや栽培管理を実践的に学んでいく。入門的な位置づけなのでまずは果樹の枝葉を見ての同定から始める。次第に摘果など専門的な栽培管理を実践的に学ぶ。

2　学習の到達目標

a：果樹の特性や果樹栽培に関する作業目的や基本的な知識を習得させる。 b：果樹の栽培と果樹園の経営に必要な知識と技術を理解させるとともに、生産性の向上を図る能力と自身で考え適切な行動に繋げられる判断力や表現力を身に着けさせる。 c：各種果樹の栽培を体験させることで、それぞれの作業の意義や役割を理解させ、果樹経営に関する興味付けを行い課題や目的意識を持つことが出来る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・果樹の栽培管理に必要な基本的知識　（各果樹の生育・生理、結果習性、樹木の枝の構造、枝の種類・特性）を身に付けている。 ・各果樹の栽培管理作業の目的や意味を関連付け、理解した上で、作業する技能を身に付けている。	①栽培管理の方法とその目的を関連付けて思考を深めている。 ②実習において自分が何をするべきか適切に判断、行動している。	果樹の栽培管理について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、各栽培管理方法とその目的、技術について探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	果樹の成長と栽培環境・果樹の栽培管理	○果樹の生育と生理	a：果樹の生育と生理に関する基本的知識、各種の栽培管理作業の意義や原理を理解している。 ｂ：設問に対して自身の考えを述べる事が出来る。 c:授業への意欲的な参加が見られており、主体的に発言を行う	定期考査 実技試験	授業観察	授業観察
		○果樹の栽培管理 摘果(ビワ、モモ、ナシ) 袋かけ(ビワ、モモ、ナシ) 摘粒、花穂の切り込み、摘房、摘心(ブドウ)	a：果樹の栽培管理について興味関心をもち、主体的に学習に取組んでいる。 b：作業の意味を理解し、次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。 c:各栽培管理作業において、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。	定期考査	実習ノート	授業観察
2学期	果樹の繁殖について・果樹の栽培管理	○果樹における繁殖方法とその原理	a：果樹の繁殖に関する基本的知識、栽培管理作業の意義や原理を理解している。 c：果樹の繁殖とその方法について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査		授業観察
		○果樹の栽培管理 礼肥 収穫・販売(ミカン、カキ)	a：果樹の栽培に関する基本的知識、栽培管理作業の意義や原理を理解している。 b：作業の意味を理解し、次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。 c：各栽培管理作業で、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。	定期考査	実習ノート	授業観察

		○果樹の繁殖(実技) 切り接ぎ 芽接ぎ	a：果樹の繁殖に関する基本的知識、や原理を理解している。 b：作業の意味を理解し、次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。 c：接ぎ木において、基本的な技術を身に付けている。	定期考査	実習ノート	授業観察
3学期	果樹のせん定方法・果樹の栽培管理	○果樹の生育と生理 特にせん定を中心	c：果樹のせん定について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 c：せん定において、基本的な技術(切り方、目的に合ったせん定の方法)を身に付け、その技術を活用している。 d：せん定に関する基本的知識や原理を理解している。	定期考査	実習ノート	授業観察
		○果樹のせん定 ・モモ ・ブドウ ・ナシ ・カキ ・クリ	b：各果樹の結果習性、枝の配置や構造、養分の分配や樹高、来年度の樹形をイメージし、適切に判断しながらせん定に取り組んでいる。 c：果樹のせん定について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	実習ノート	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度